

第 146 号 (2012)

〒733-0032 広島市西区東観音 8-10

ワールド・フレンドシップ・センター

理事長：山根美智子 館長：ラリー&ジョアン・シムズ

Tel (082) 503-3191 Fax (082) 503-3179

E-Mail: worldfriendshipcenter@gmail.com

URL: <http://www.wfchiroshima.net/>

WFC のブログ : <http://www.wfcpeace.blogspot.jp/>



もう原発はいらない！

ジョアン・シムズ



2012年3月11日、広島平和記念資料館にて原子力災害に関する専門家からの意見を伺う一連の広島市民の集いが開催され、ワールド・フレンドシップ・センターからも数名が参加しました。集会の後、一同は原爆ドーム前へと移動、そこには「3.11 ヒロシマ発 内部被曝はいやだ！ 原発はハイロ！」との呼びかけに、500人を超える人々が集まっていました。さらに一同は、警察官の護衛の中、広島市内を

中央公園へ向けて出発し、「さようなら原発 1000万人アクション in ヒロシマ集会」に合流しました。若者、高齢の方、中高年、子ども連れの家族、皆がステージの周りに集い、原子爆弾による被爆者の方からの、今もなお続く健康被害についての証言に聞き入っていました。福島から参加した若い父親は、津波から九死に一生を得たものの、原発事故による放射能漏れのために家を離れ、家族別々の避難生活を余儀なくされた自らの体験を語ってくれました。スピーチの最後には、4月には全ての日本の原発をストレステストもしくは保守点検を行うべく運転停止させ、「日本は原発ゼロでも乗り切れるのだ」と、政府と電力会社に証明しようと、日本中で働きかけているグループで活動されている方のお話を伺いました。このように原発が停止されれば、日本は原発を段階的

に廃止してゆき、再生可能エネルギー、安全エネルギー、クリーンエネルギー、グリーンエネルギーの段階的導入を図る重要な期間となるのです。

集會に集まった人々の数は750名から今や3,000名へと増えています。人々は旗を手にし、あるいは「さよなら原発！」と書いた黄色のカードを手にしてスピーチを聴いていました。集會の終わりには、震災と津波で命を落とされた方々ならびに、避難されている方々、放射線の被害に遭われている方々にたいして、黙禱がささげられ、また、被災された方々への生活再建支援金が集められました。この後、市内パレードに移り、車の乗入れは制限され、パレードの進行方向の片側一車線の通行となり、警察が交差点や道中をずっと先導してくれました。5,6人が横に並んで長い列をなして、メッセージを書いたカードや幕、旗を手にして広島市内を約5kmにわたった行進となりました。

ワールド・フレンドシップ・センター(WFC)は、1965年に設立され以来、核軍縮ならびに平和の推進に取り組んでまいりました。この新たに台頭した放射能の危険性に対する懸念は、WFCの活動目的に準拠するものであります。世界平和と核兵器廃絶は、脱原発社会を避けては通れないでしょう！ワールドフレンドシップセンターボランティア館長として、原子力発電の存続反対を訴えるものです。

## 「ワンワールド」ピースコンサート

### ジョアン・シムズ



WFC ピースクワイアの指導者、渡辺朝香さんが2009年の秋アメリカのオレゴンを訪れた時に持った夢が2012年4月13日に素晴らしい形で実現しました。ワシントン州シアトルから来日したミュージシャンでかつシンガーソングライターでもある、マイク・スタ

ーンは彼のオリジナルソング「ワンワールド」をひっさげて広島で多くのミュージシャン、ダンサー、歌手と共に素敵なコンサートを開きました。コンサートは世界平和記念聖堂（幟町カトリック教会）でありました。聖堂の収容能力は400人ですが、コンサートの聴衆は400人以上で満員でした。聴衆の中には前WFC館長のデーブとエヴィ・バーチがいました。聴衆の多くはマイク・スターンとワールド・フレンドシップ・センターが太平洋の両端から平和のためにミュージシャン達を合流させたことに感謝の気持ちを抱きつつ会場を後にしました。出演者はマイク・スターンをはじめゴスペルフルのダンサー、日本の伝統的な琴や尺八の奏者、ピアニスト、ヴァイオリン、ヴィオラ、バスの奏者等でした。ヴォーカリストとしては朝香さんと共に2~3の歌を歌った3人のオペラ歌手が含まれていました。WFCのピースクワイアもあの壮大な「世界の命・広島の心」とマイクのレコード収録曲の1つを歌いました。すべての歌に手話がついていました。最後の曲はマイクのフォーク調の歌い方と他の出演者が綺麗なハーモニーになっていました。出演者と聴衆全員で「ワンワールド」を合唱しました。

何ヶ月にもわたる組織作り、計画の立案、会場探し、リハーサル、スケジュール作り、コンサートプログラムの作成、チケットの販売等がワンワールドピースコンサートの成功をもたらしました。平和という言葉がワールドフレンドシップセンターで引き続き広まり続けています。コンサートの要約がWFCのブログやYouTubeでご覧になれます。

WFCのブログ : <http://www.wfcpeace.blogspot.jp/>

YouTube : [http://www.youtube.com/watch?v=5-tUiav\\_1m0](http://www.youtube.com/watch?v=5-tUiav_1m0)

## シアトルからの手紙

### マイク・スターン

4月に私が広島を訪れた時、自分は原爆の歴史やその破壊力についてよく知っている、感じていました。本もたくさん読んでいたし、写真もドキュメンタリー映画もたくさん見ていた。しかしワールドフレンドシップセンターからの招待で実際に私が広島に来て平和コンサートをしたことは、平面的な歴史のイメージや知識よりずっとたくさんのかげを経験するかけがえの無い機会でした。



今私の心の中にある広島イメージは以前よりずっとゆたかです。そのイメージとは鋼鉄が捻じ曲がり今にも壊れそうな原爆ドーム、1945年、8月6日、8時15分に止っている腕時計をはじめとする、破壊の産物がいっぱいある資料館などです。また日本人の音楽家たちと歌ったり活動したりして育んだ新しい友情も私の心をいっぱいにしています。被爆者から聞いたお話も今まで自分が本や映画で学んだことよりたくさんを教えてくださいました。

合衆国の自分の家に帰るとすぐに、広島の人々を称えるために広島の歌を書きたいと思いました。そしてその歌を書き上げました。この歌が、世界中の(特に私自身の国)人々が原爆による破壊を忘れないために、役立って欲しいと思います。そうすればどこの国もこれから先原爆を再び使うことがないでしょうから。この歌は2つのバージョンで録音されています。1つは私が英語で歌っているもの、もう1つは日本語のナレーション付です。歌をダウンロードされたい方は、こちらへどうぞ。

[www.mikesongs.net](http://www.mikesongs.net)

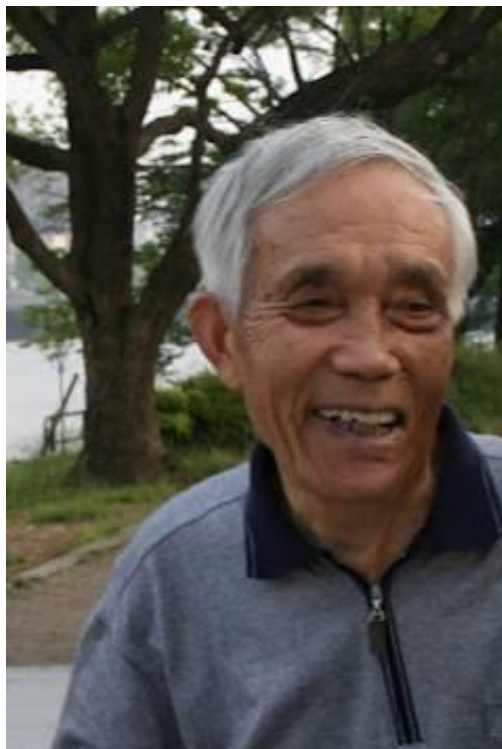


### 「花は知っているのか」

広島に咲く一つの花	他にももっとあるのだろう
殆んど誰も知らないのは	めぐり伝えるあの記憶
時が来れば、色が変わること	人にもそれが出来るなら
花は知っているのか	人にもそれが出来るなら
春から8月初めまで	8月6日、8時15分
青一色の花びらに	1945年
突然現れる、焼け焦げた縁かがり	瓦礫の中に咲いた花
花は知っているのか	今も花は咲き茂る
なんと不思議な変わりよう	今も花は咲き茂る
まるで計ったかのように	広島に咲く一つの花
いつも8月6日、8時15分	殆んど誰も知らないのは
変わる花びらの色あい	時が来れば、色が変わること
花は知っているのか	花は知っているのか
たぶん花は覚えている	花は知っているのか

## 理事長を終えて

森下 弘



前理事長の原田東岷先生が、かつて私に「フレンドシップ・センターをつぶさないで欲しい」と言われ、私もその思い一筋に、務めて来ました。

その間にも、若い世代の人にバトンタッチしたい、という思いはかなり前から抱いていました。

しかしその後にもセンターの経営問題、NPO法人化、40周年記念と記録集の編集、バーバラ・レイノルズ記念碑の建立など、さまざまなことが続きました。

この度、理事長の後任も決まり、ようやく引退させてもらうことが出来、ひとまずほっとするとともに、今は、新しい理事長、理事の新しい活動になによりの期待を寄せています。

思えば、在任中の27年間、そしてワールド・フレンドシップ・センターの47年間ともに活動し、協力していただいた歴代館長、スタッフ、理事、メンバーの皆さんとのさまざまな思い出が頭の中を去来し、それらの回想録もあらためてまとめたい思いです。

そしてまた、センターのこれからへの期待や思いも頭を去ることがありません。

ただ一方、

今、自分は齢80を超えたこと、家族のこと、また、長年、原爆、平和、国際交流、書道、教育、に関わり、走り続けて来た40年、50年の間にあまりにも溜まり溜まった資料が、記録が山をなしていることも事実です。

それらを整理しない限り、前述の回顧も、助言も、展望も前へ進まないでしょう。

今は整理、充電の時と割り切らなくてはならないと思っているところです。なにとぞよろしく。

## WFC の新しいリーダー

### ジョアン・シムズ

2012 年 5 月の理事会で、新理事長に山根美智子さんが選出されました。1965 年、WFC の創立以来 3 代目の理事長としてリードしていかれます。原田先生が初代理事長として 20 年間、続いて森下先生が 27 年間 WFC を導いてくださいました。

山根美智子さんは 30 年間 WFC でいろいろなボランティア活動に積極的に参加し、その前向きな態度と朗らかな笑顔でよく知られていて、WFC の歴史とバーバラ・レイノルズについてとてもよく知っているのが、理事長として理想的な人です。彼女の平和活動は広島で高く評価されていますし、WFC での翻訳、通訳、平和公園の碑めぐりガイド、むつみ園訪問など、彼女の才能と活躍ぶりは有名です。また、ピースクワイアで歌い、最近ではワン・ワールド・ピースコンサートなど地域の催しにも尽力していますし、PAXで海外に行き活動しました。このように多岐にわたる活動や経験が WFC を次世代に導く資質が彼女には十分備わっています。



美智子さんは最近、広島の中中国新聞の平和メディアセンターからインタビューを受け、熱く次のように語りました。「私は重責を担っていますがスタッフの助けを借りて広島のメッセージを世界に伝え続けたいですし、私たちの活動を若い人々と一緒に強化していきたいと思います。」

### これからの予定

- 沖縄平和賞 森下弘名誉理事長 受賞発表 8月
- シュモームユウジウム オープニング 10月下旬から11月始め
- クリスマスパーティ 12月

### 毎月のプログラム

- Fun Time in English 映画・料理等 第4土曜日（8月を除く）

## バーバラ・レイノルズ記念碑建立一周年記念

ラリー・シムズ



去る6月12日、バーバラ・レイノルズ氏記念碑除幕一周年を祝して、平和記念資料館及び平和公園にて記念行事が行われました。まず、館長のジョアンとラリー、次に、このほど新しく理事長に就任された山根美智子さんが、挨拶を述べました。そして、五十名を超える参加者は、以前放送されたテレビの特別番組を見て、個人的にバーバラをよく知る森下名誉理事長から貴重なお話を聞くことにより、バーバラ・レイノルズ氏について、より理解を深めることができました。また記念碑前では、ワールドフレンドシップセンターのコーラスグループ、ピースクワイアの皆さんと共に、東京からお越しいただいたオペラ歌手の田村春来さんが素晴らしい歌声を披露されました。引き続き開催された昼食会にはおよそ三十五名の方々が参加され、バーバラに関する様々なエピソードが飛び交う楽しい会となりました。その席では、長年理事長としてWFCの為に貢献された森下名誉理事長に、記念の額入り写真が贈呈され、また、この度の沖縄平和賞受賞の候補者として森下理事長が推薦された事も報告されました。会場では、バーバラが最初にフェニックス号で行った家族航海の写真もあり、参加者が思い思いに手に取って当時の様子を窺い知ることができました。また、額に入れて大切に保管されたバーバラ直筆の貴重な手紙も紹介されました。和やかでとても心温まる記念行事となりました。

## 山下美枝子様のご逝去を 悼む

田口 知鶴子



6月24日の朝 御息様から 御逝去の報を戴き、耳を疑いました。4月初旬 お宅を訪ねました折はにこやかにお出迎え戴き、1時間ほどおしゃべりしてしまい 慌ててお暇したのです。まだまだ当分は大丈夫と 安心させて頂いたのです。

ワールドフレンドシップセンター(WFC)では 主にアメリカから、ボランティアの館長が2年交代で 世界平和を目指す仕事に従事され、不自由なく英会話が出来ると手助けが欠かせない場所です。山下様は31年に渡り 英語の才能を駆使され、誰にも真似のできない唯一無二の通訳として 歴代館長を支えて来られました。持ち前の緻密な判断力と

正義感から 日本語の不得手な館長の 悩みをキャッチして問題解決を導く 重要な橋渡しの役も 荷って戴きました。常にWFCの進むべき方向を念頭に置き、また ゲストの朝食・掃除・洗濯などのお手伝いにも気を配られるなど 心血を注いでWFCの骨格を支え、その存続に 多大な貢献を果たされました。

私事ですが、一昨年6月 仲間4人で無理にお願いし、英文法を教えて戴く事になりました。殊のほか暑い夏でしたが、御多忙な合間をぬって 宿題プリントまで毎回準備され、月2回の英語クラスを開いて戴きました。正確な美しい発音と 身近な例えを使った解説は 分かり易く素晴らしいものでした。山下様のお姿は 熱気に満ち輝いて見え、私共も感謝で一杯でした。その秋 体調を崩されたとお聞きした時、愕然と致しました。御無理を強いてしまっておりました。

いつもお優しい笑顔と さわやかな凛とした姿勢の山下様でした。又 ご主人様は 陰で常にWFCを支援して戴き、この2年7か月 身を粉にして奥様のご闘病を支え続けられました。物静かで寛容な九州男児の 尊い御主人様のお姿も 脳裏に焼き付いております。長い間 本当にお世話様になり 有難うございました。御冥福を 心よりお祈り申し上げます。

コンピューターでご覧の方は、次のウェブサイトから前館長 Kent Sweitzer が撮った山下美枝子さんの写真をご覧になれます。[山下美枝子さんの写真 http://smu.gs/NtjPqs](http://smu.gs/NtjPqs)